特定非営利活動法人フードバンク浜っ子南 2022 年度 事 業 報 告

はじめに

団体設立 3 年目の 2022 年度は、活動の持続可能性を確かなものとするため、今後に向けて方向性を確認する年となりました。まず足元を見つめなおすことから始め、当団体の主要な活動であるフードパントリーひとり親支援において大切にすべきことを再確認しました。食支援提供品の量と質の確保は当然ですが、フードパントリーをつながりの場としてとらえ、参加者ひとりひとりに丁寧に関わり信頼関係を作っていくことを、これからも心がけていきます。

1 年をとおして地域の団体や企業と連携や協働を積極的に進めました。フードパントリー会場の提供団体とは、運営上必要な情報を共有し課題を協議しながら開催を重ねています。また、地域の団体との協働により親子イベントを開催し、食支援を通したひとり親とその子どもへの支援を一歩広げることができました。

フードデリバリー事業では、当団体のフードパントリーでは届かない方たちを地域の団体と連携して支えていくことを念頭に、相手先のニーズに応じて食品提供しています。新たに立ち上がった子ども食堂や地域食堂等には積極的に食品提供し、活動の後押しをしました。また助成金を活用し、今まで提供できなかった母子支援施設やシェルターに食品その他必要品を提供することができました。

フードドライブ事業は、協力先のフードドライブ品を定期的に回収に伺うほか、フードドライブを実施する企業・団体からの寄贈をいただいています。当団体へのフードドライブ品の寄贈は昨年度と比較して 747kg、フードドライブ以外のご寄付は 2,577kg 増加しました。寄付品は、企業・団体からの防災備蓄品入れ替えに伴う余剰食品、個人の方では余剰食品をご寄付いただくほか、購入品をほぼ毎月ご寄付くださる方もいます。これらの寄付寄贈食品は、フードパントリーやフードデリバリーで大切に活用しています。

実施事業

1 フードパントリー事業

参加者は増加の一途をたどっています。ひとり親世帯の収入の不安定さは改善が難しく、加えて昨今の急激な物価高も影響しています。こうした状況に対応するため、会場を新設し 4 月から毎月 5 回の開催としました。

継続参加者との関係性を大切にしつつ新たにひとりでも多くの方を受け入れるため、支援期間の長い方から状況把握のヒアリングを重ねています。

子どもの成長に伴う出費増加や児童手当の終了などで家計が圧迫される家庭があります。さらに、精神的に不安定になっている方、持病を抱えていたり体調不良の方、失職や収入減が続いている方も多い状況です。この環境下で、支出を抑えるため食費を減らし子どもの食が不十分な家庭も多く見られます。ほとんどの方が継続支援の必要な状況にあります。また生活必需品消耗品や衣類の希望も多く寄せられています。

(1)　フードパントリー

① 実施場所 実施日

戸塚区１	上倉田地域ケアプラザ	毎月第１日曜日
南区１	南区地域子育て支援拠点「はぐはぐの樹」 （共催：南区地域子育て支援拠点「はぐはぐの樹」）	毎月第２日曜日
磯子区	磯子地域ケアプラザ	毎月第３土曜日
南区２	浦舟地域ケアプラザ	毎月第３日曜日
戸塚区２	こまちカフェ	毎月第４日曜日

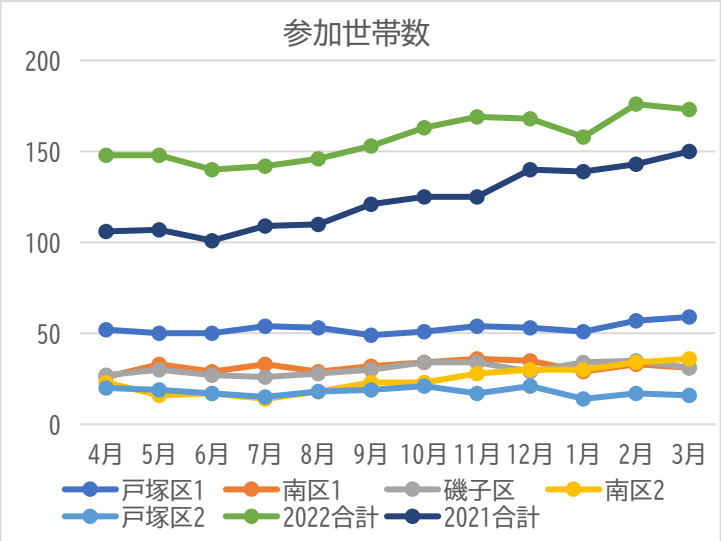
② 実施回数　延べ 60 回

③ 参加数

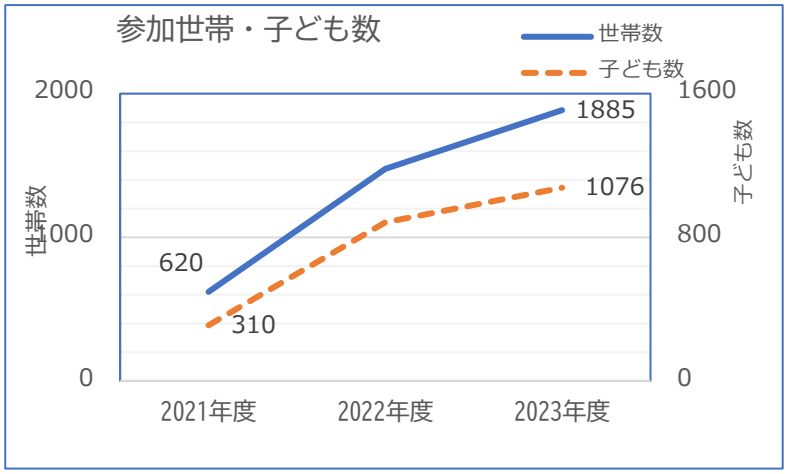
年間参加者数

	大人	子ども	合計
戸塚区１	633	241	874
南区１	380	260	640
磯子区	365	153	518
南区２	292	221	513
戸塚区２	214	195	409
	1884	1070	2954

参加世帯数の年間推移



参加世帯数の推移（2021 年度～2023 年度）



④　季節のお楽しみ企画

会場で季節のお楽しみ企画を実施し親子で楽しんでいただきました。

５月	戸塚区１	おにぎり提供(協力:健康ごはん塾)
６月	南区２	お菓子詰め放題
	戸塚区２	クイックリフレッシュ(協賛:HEART.COM)
７月	戸塚区２	親子のひろば(戸塚区地域子育て支援拠点「とっとの芽」コラボ企画)
８月	戸塚区１	お楽しみゲーム
	南区 1,南区 2,磯子区,戸塚区２	夏休み縁日・ヨーヨー・綿あめ
10 月	戸塚 1,南区 1,南区 2,磯子区	ハロウィンお菓子バイキング
	戸塚区２	クイック整体(協賛:HEART.COM)
12 月	戸塚区1	クリスマスイベント(協力:横浜保育福祉専門学校、バルーンアート mignon)
	南区 1,南区 2,磯子区	クリスマスイベント(協力:NPO 法人チャリティサンタ)
	戸塚区２	クリスマスイベント(戸塚区地域子育て支援拠点「とっとの芽」コラボ企画)
１月	戸塚 1,南区 1,南区 2,磯子区,戸塚区２	お正月企画お菓子つかみ取り

⑤　浜っ子カフェ

１月から飲み物とお菓子などを親子で楽しめる「浜っ子カフェ」を会場に設けました。重い荷物を持って会場を巡っていただいた後に、親子でほっとしていただける場として、さらにボランティアが参加者と言葉をかわす大切な場となっています。

2月は戸塚区１会場で上倉田地区社協の皆様によるおやつ食堂ホットドッグ、３月はアルファ米を使ったボランティア手作りのちらし寿司を提供しました。

○　提供食品量　　年間合計　約13,000kg

(2)親子イベント

参加者アンケートでは、親子で参加できるイベントの希望を多数いただいています。そこで横浜保育福祉専門学校のご支援をいただき、「親子クッキング」(食育ゼミのご協力)、「体育館でのびのび遊び」(保育ゼミのご協力)を実施しました。

開催日　８月５日　　会場　　横浜保育福祉専門学校

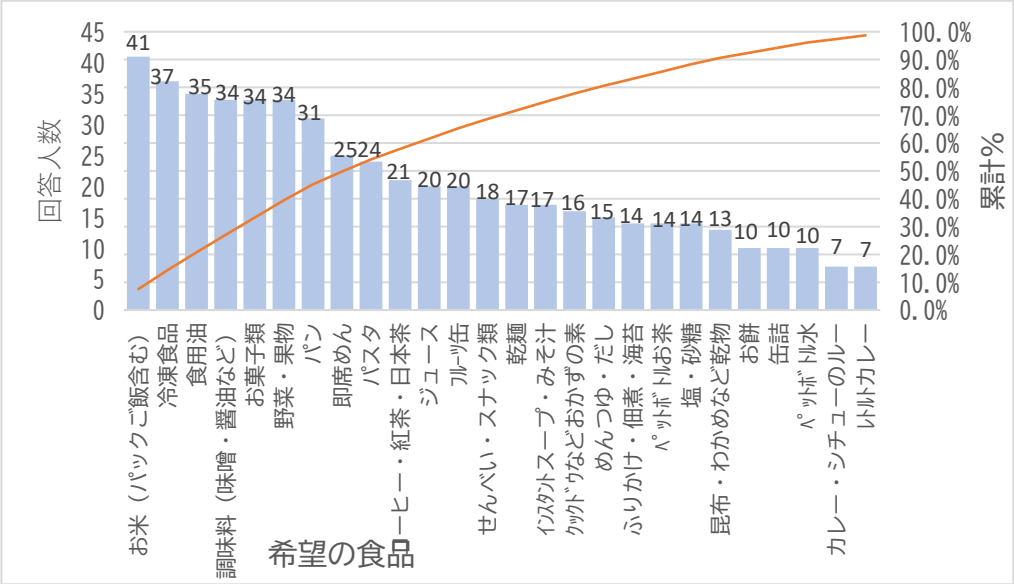
参加者数　親子クッキング８組　体育館でのびのび遊び 11 組

＜参加者からのお手紙(抜粋)＞

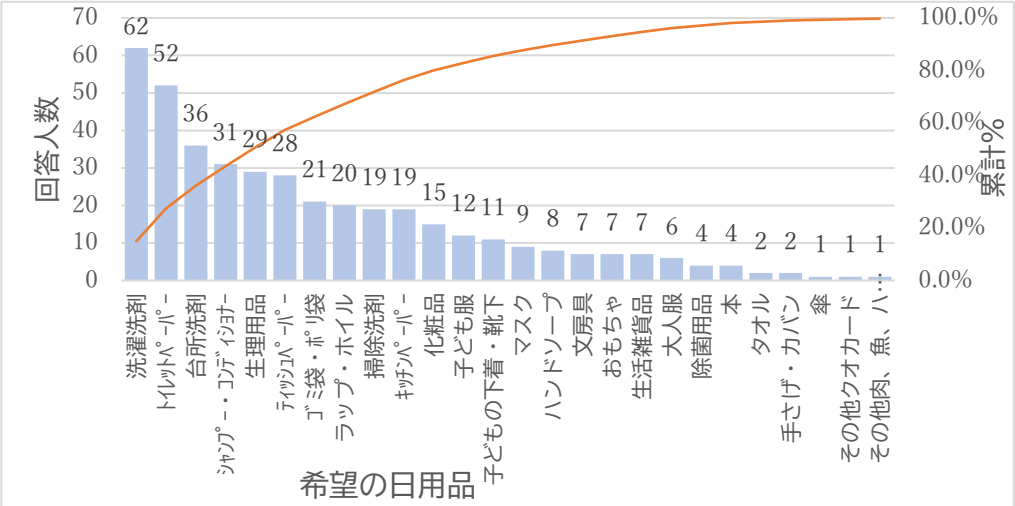
普段の生活の中で、子供の成長を見ていたようで全然目に入っていなかった事が沢山あったのだと、気付かされたと共に、子供の成長に感動した１日でした。
家で包丁は持たせた事が無く、いつも私が一方的に作り出すだけでいたと思っておりましたが、補助のお姉さんに、「いつもママの見てるし、幼稚園でもやった事がある」と話していて、とても上手に包丁や、ピーラーを使っていて本当にビックリ!!しました。いつも、私を見ている、、、、、全く思ってもいませんでした。
親が何気にやっている姿を子供は見ている、背中を見て子供なりに習得し、考えていた事に感動したのです。ビックリ、涙が出そうになりました。改めて、良い背中を見せなくてはという励みにもなりました。
親のケア、子供のケア、心のケア、色々な方向から、支えて頂き、生きていくエネルギーを頂いております。
本当に、ありがとうございます。私達は、とても幸せであると、思っています。

＜参加者の声①＞2022 年６月実施アンケート(回答数 120)

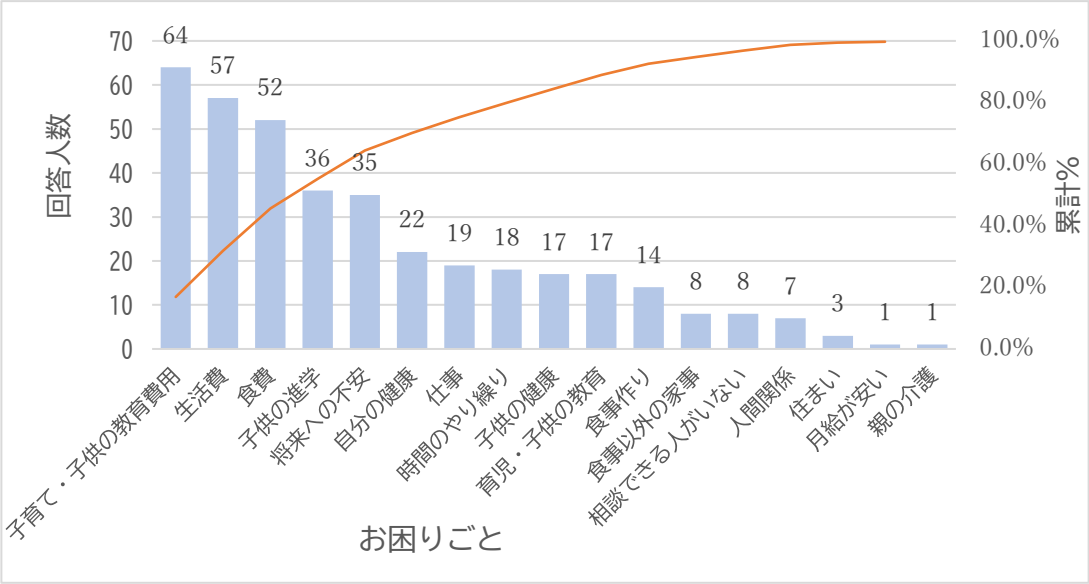
1.希望の食品



2.希望の日用品



3.お困りごと

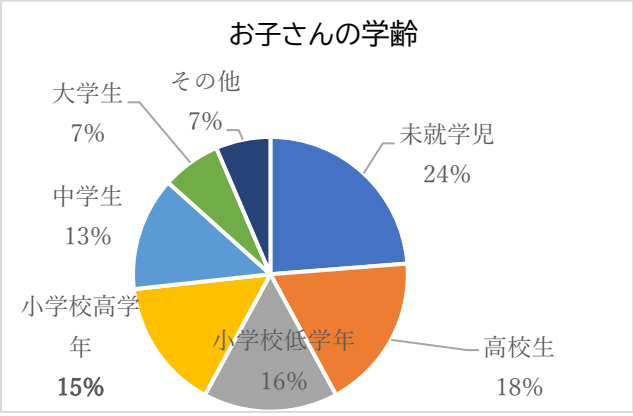


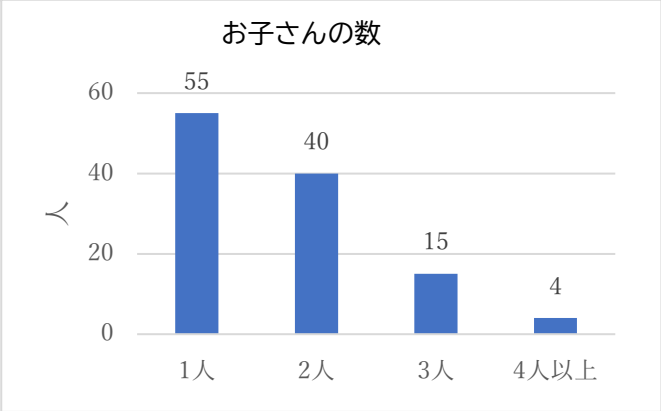
声・・・アンケートより

・コロナに感染して、重症化してしまったとき、いただいた食料で命をつなぐことができました。
・母親として子供に頼る事もできず、私も病気になり働くことが困難な時にフードパントリーを知りました。
・この世の中、生活、そして子育てをしていく中で、とてもつらい時に、とても温かく支えてくださり、本当にいつも感謝の気持ちでいっぱいです。お世話になり、親としていけないのですが、泣く事が少なくなり、子ども達も笑顔が増えたと思います。
・日々思う事は生きるのって本当に大変だナーとそんな中で頑張って仕事をしているのですが、稼げず子ども達に迷惑をかけているので心が辛いです。物価高や学校費用で苦しい中、浜っ子南様の存在が心の支えになっています。
・ひとり親で子供を保育園に入れながらですと、子の体調をくずすことが多くなかなか思ったように出勤できず…毎月お給料もバラバラで切なくなる事が多々ありますが、このような場を提供してくださり、また皆様のあたたかい気持ちを感じる事ができ、またフードパントリーに行くと子供にも優しく声をかけてくださり嬉しくて涙が出そうになる時があります。

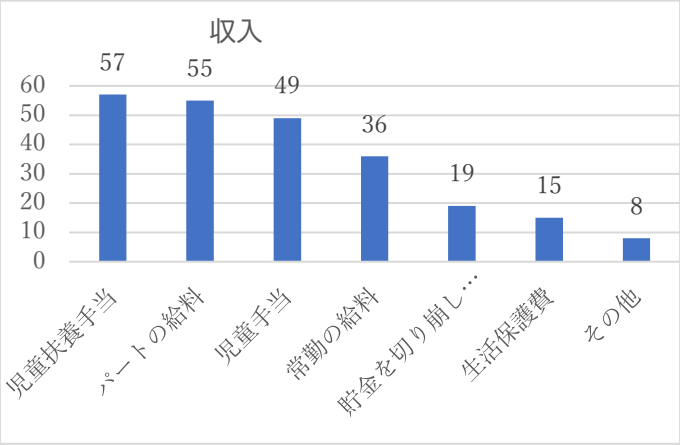
＜参加者の声②＞2023 年 3 月実施アンケート(回答数 123)

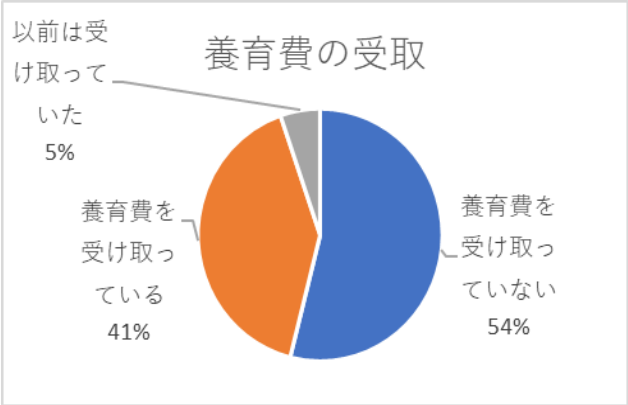
1. 子どもの年齢･子どもの数



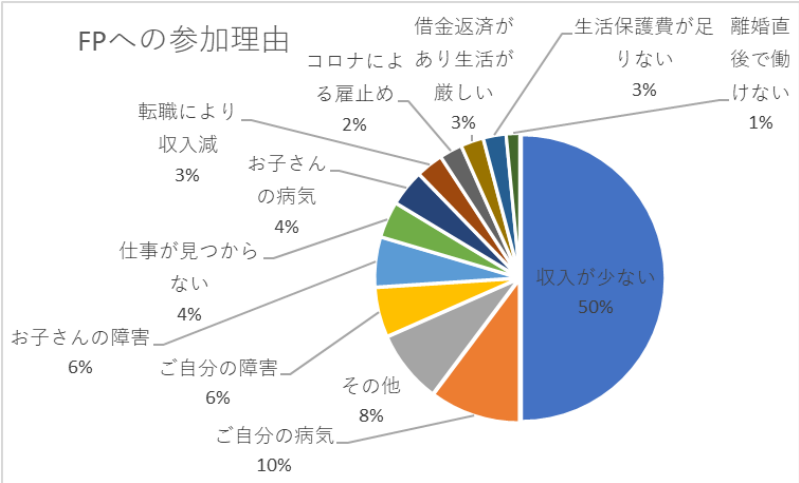


2.現在の収入(複数回答)

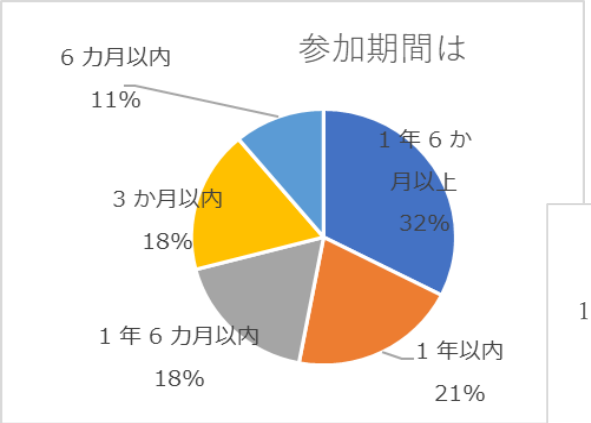


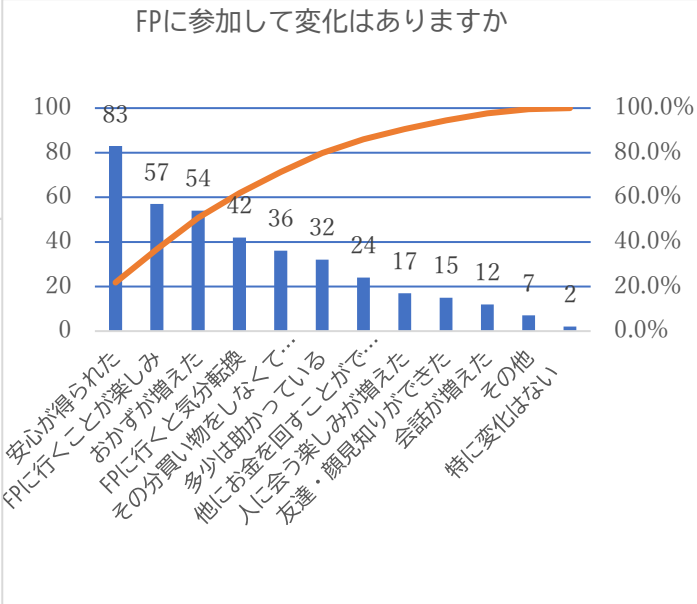


3.フードパントリー参加理由



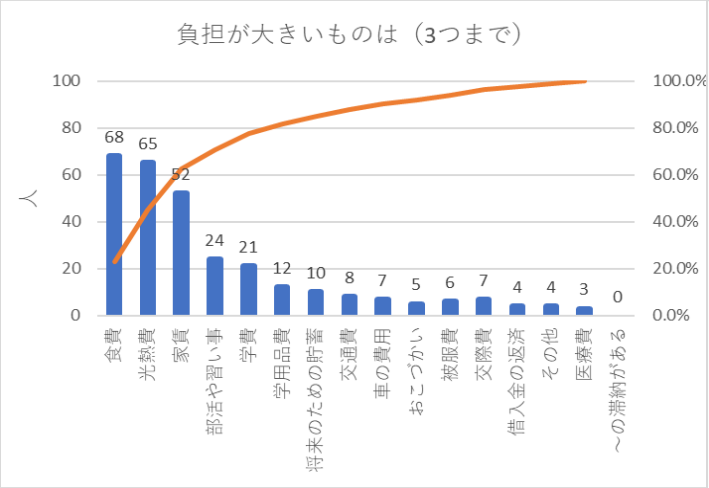
4.参加期間



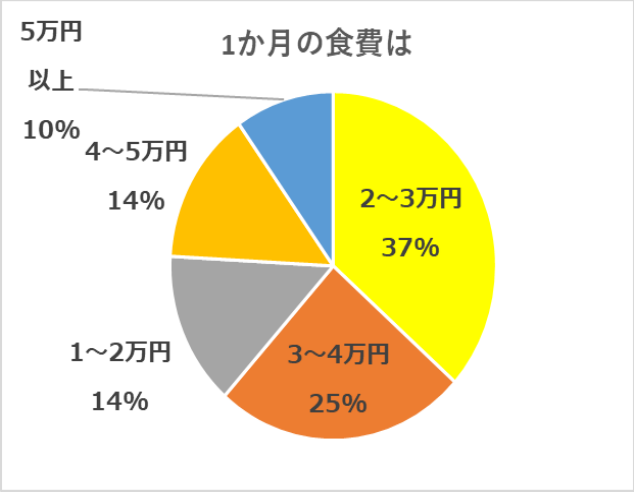


5. 参加による変化

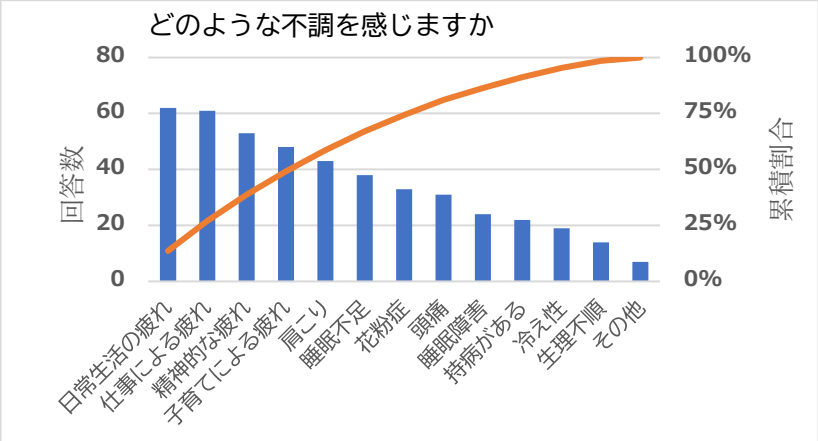
6.生活費の中で負担の大きいもの(3 つまで回答)



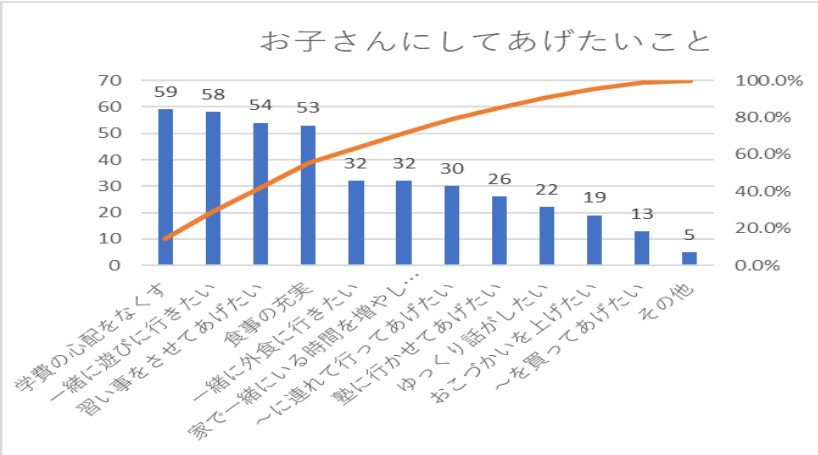
7. １か月の食費



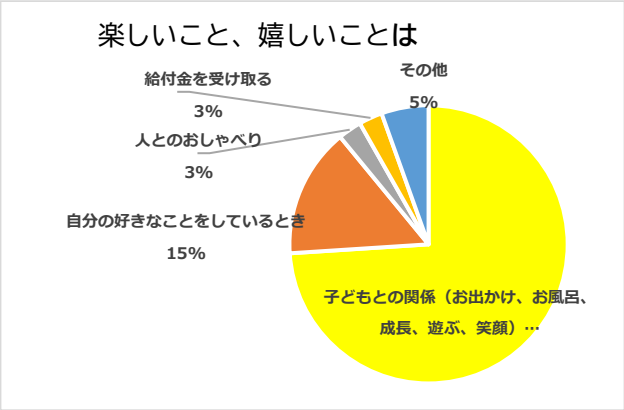
8.体調について(複数回答)



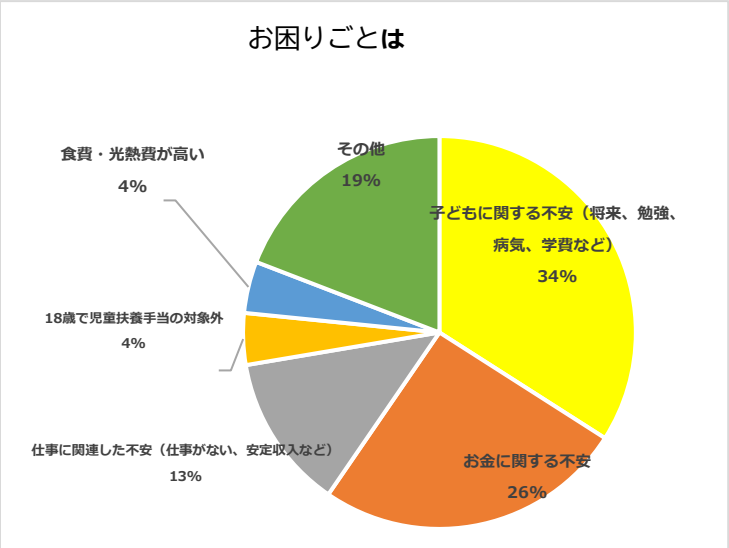
9.子どもへしてあげたいこと



10. 楽しいこと･嬉しいこと



11.お困りごと



12.今いちばん必要としているもの・こと

・お金　　生活費・光熱費・預金　学費・奨学金・経済的安心・安定した収入(仕事)
・子どものこと　子どもの健康　子どものデイサービスなどへのお迎え
・自分のもの　　衣類・生理用品・日用品・子どものものを優先しているので自分の靴がボロボロ
・子どものもの　子供服　進学用品の準備・メイク用品
・住まい　　家が狭い・家賃補助・市営住宅・家の修理へのアドバイス
・マンパワー　　家事・育児の手助け・子どもと遊んでくれる人・一人じゃどうにもならない時に支えになってくれる人・サポートしてくれる身近な大人・パートナーまたはいい友達
・時間　　子どもと・ゆっくり・余裕のある・勉強を教える・ひとりの・穏やかな幸せな・頭のスイッチが off になる時間
・こころ　　心の余裕・ゆとり・安心と自由・安心感・忍耐力・生きる意味・自己肯定感を上げたい
・ほっとできる居場所
・休養

声・・・アンケート、「なんでもひとことカード」より

・ひとり親になってまだ短い期間で大変な日々を過ごしている中でこのような支援をいただけて助かっています。
・カツカツでしんどいですがこういった場所で優しく迎えてくださり気にかけてくださり、本当に有難いです。
・子どもと食品を選ぶ楽しみ、お菓子を食べる余裕ができ、大変嬉しく生活が潤うようになりました。

・子どものお菓子をあまり買ってあげられなくて、お菓子をいただけるのがうれしいです。
・精神疾患があるので人と話せることで少しやすらげる状態になっています。
・中学進学にあたり補助金情報も教えていただき中学準備も不安なく買い揃えることができました。
・ここへ来れば安心するという場所です。食べること、子どもに食べさせなくてはならない不安、食べさせてあげられないなど、ここで食べ物をいただいてから少しずつ私の精神安定へとつながり、悲しむという事もなくなり前へ目を向ける活力になっています。本当に私にとって活力とは子どもを守るうえでとても大切なことで、これからも頑張って行けるという気持ちをいただいています。
・ひとりで育児をしている中でとても不安がありましたが、前を向いて頑張ろう、ひとりではないという気持ちでいられます。本当に人のありがたみを感じています。
・子育ての息抜きとして同じ状況下にいる方々との交流ができたらと思います。

2 フードデリバリー事業

地域の子ども食堂、子ども支援団体と食品・食材を通じて連携することで、子どもの育成を応援します。

①必要に応じて菓子、飲料、食品を届ける

②フードパントリー実施の子ども食堂に食品提供

③食材として日本ケンタッキーフライドチキンの冷凍チキンを提供

〇連携団体 23団体

磯子区： こどもすまいる食堂、いそびば、他２団体

港南区： とまとこども食堂、港南台こども食堂みんなのカフェ、ひまわりハウス、他2団体

戸塚区： たいしょう食堂,、居場所 SORA、多世代地域食堂みらころ、なないろのあした食堂

南区： 睦地域ケアプラザこども食堂3団体(コドイチ、わいわい食堂、たんぽぽカレー食堂)、睦ハウス、こっこダイニング

泉区： だんだんの樹、宮ノマエストロ、子ども食堂がじゅまる

他： 児童養護施設3団体、福祉施設1団体(寿生活支援会館)、他フードバンク等

〇提供回数 のべ 400回

〇提供重量 合計 2,988kg

3 フードドライブ事業

(1)フードドライブ

地域の皆さんから食べきれない食品をフードドライブボックスに持ち寄っていただき、定期的に回収し、フードパントリーで活用します。

①フードドライブボックス設置協力先 6か所

港南区： 丸山台いちょう坂商店街3店舗

南区： 浦舟地域ケアプラザ

栄区： ふれあいの家

戸塚区：憩いの家夢みん

②無印良品上大岡京急店のご協力

店舗のフードドライブ品の提供をいただいています。

③ファミリーマートフードドライブに協力パートナーとして協賛

戸塚深谷中前店、上大岡南店、港南台７丁目店のフードドライブ品を定期的に回収しています。

④一般社団法人乳がん予防医学推進協会主催「乳がん検診に行こう！絵画コンクール」に協賛

会期中、会場でフードドライブを実施(12月)

⑤ 横浜市立丸山台小学校６年生の総合学習(３月)

フードドライブに取り組み、集まった食品を寄付いただきました。

⑥ 企業内フードドライブ品寄付 (株)さわかみホールディングス、第一生命保険湘南支社 他

〇フードドライブ品回収量　合計 1,705 kg

（2）食品寄付

個人･団体･企業からの食品寄付が年度の後半に大幅に増えました。継続寄付支援を多数いただいています。

①個人の食べきれない食品の寄付。アマゾンギフトでの寄付。季節のお菓子･食品などの寄付。

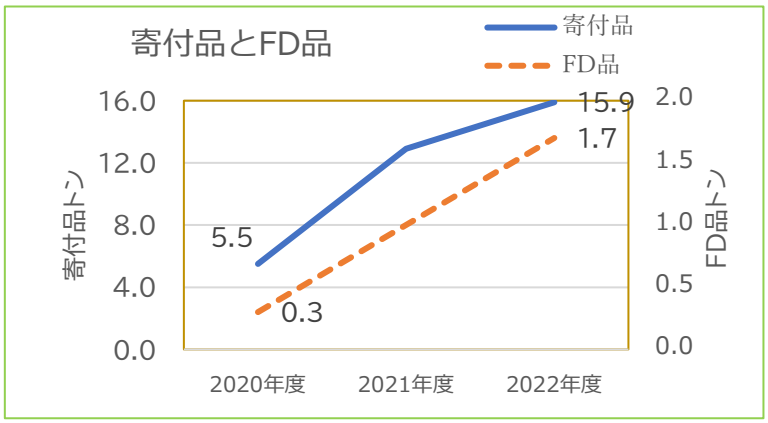
②企業･団体からの防災備蓄食品の大量寄付

③食品ロス削減に資する寄付：地域のパン屋さんからパンの寄付

〇寄付件数　816 件

〇寄付品受け入れ重量 合計 約15,868kg

寄付品･フードドライブ品受入重量推移（2020年度～2022 年度）



4 その他の活動

(1)ホームページで情報発信

アクセス数　パソコン 46,000 件 スマートフォン 14,400 件　合計 60,400 件

(2)情報紙「浜っ子南通信」　3 回発行

会員、ご寄付支援者にお送りするとともにホームページにも掲載しています。

(3)活動報告「想いをつなぐ」　5 回発行

寄付支援者にお礼とともにお送りしています。

(4)他団体との交流

･みなと総合高校 3 年 4 組の 8 グループに対してフードロス削減に関する活動アドバイス実施

･とつか食支援情報交換会 3 回開催(事務局)

･医療生協かながわ「困った」とつながるシンポジウム 実践報告

･横浜保育福祉専門学校安藤ゼミ「子ども家庭福祉」「子育て支援」特別講義

･上大岡つながるカフェ ゲストスピーカーとしてフードバンクおよび浜っ子南の活動を紹介

･パルシステム神奈川地域団体交流会 参加

･フードバンクかながわ情報交換会 参加 冷凍食品提供について事例発表

･横浜市シニアボランティアポイント研修会(於:戸塚区上倉田地域ケアプラザ)で活動紹介

･横浜市立丸山台小学校 6 年生総合学習の時間 講師としてフードバンクの活動を紹介

･一般社団法人乳がん予防医学推進協会主催「乳がん検診へ行こう！絵画コンクール」に協賛

･横浜市栄区社会福祉協議会 フードパントリーに協力

(5)令和４年度農水省フードバンク活動強化緊急支援事業　専門家派遣

当団体の財政の課題について、フードバンク事業とNPO法人運営に経験知見のある専門家へ相談し搬送支援いただきました。

専門家:茨城NPOセンター・コモンズ常務理事兼事務局長、NPO法人フードバンク茨城理事長　大野覚氏

(6)フードバンク山梨視察

上記(5)の関連で先進フードバンクの視察に行かせていただきました。

5 助成金

当団体への食品寄付は増えておりますが、子育て家庭の食の需要を考慮すれば参加者の増加と相まって不足気味の状態が続いています。助成金を得ることにより食支援を質・量ともに充実させ、日頃用意することが難しい生活支援物資を提供することができました。

(1)生活協同組合パルシステム神奈川　第22回市民活動応援プログラム

フードパントリー支援用食品の購入および物流経費に使わせていただきました。

(2)公益財団法人かながわ生き活き市民基金　第17期福祉たすけあい基金

倉庫賃貸費用に使わせていただきました。

(3)社会福祉法人横浜市社会福祉協議会　令和４年度よこはまふれあい助成金

通信運搬費、会場利用料、印刷費、物品購入等の活動経費に使わせていただきました。

(4)公益財団法人アイネット地域振興財団　2022年度助成プログラム

倉庫賃貸費用に使わせていただきました。

(5)一般社団法人全国フードバンク推進協議会

令和４年度厚生労働省ひとり親家庭等の子供の食事等支援事業

「フードバンク団体等に対する食糧支援活動強化助成事業」

フードパントリーおよび連携フードバンク、子ども食堂等に提供する

支援用食品の購入に使わせていただきました。

(6)社会福祉法人神奈川県共同募金会

赤い羽根　地域に密着した多様な生活支援活動応援緊急配分事業(前期)

ひとり親とその子どもへの生活衣料支援に使わせていただきました。

(7)社会福祉法人神奈川県共同募金会

赤い羽根　地域に密着した多様な生活支援活動応援緊急配分事業(後期)

ひとり親とその子どものため生理用品を購入し提供しました。

(8)横浜市こども青少年局　横浜市子どもの居場所に対する物価高騰対策支援金

浜っ子カフェのアルファ米を使った軽食提供の際、必要な食材費に使わせていただきました。

(9)特定非営利活動法人フードバンクTAMA

物価高・コロナ禍におけるひとり親家庭の子ども等への緊急食糧支援プロジェクト助成金

フードパントリー支援用食品の購入に使わせていただきました。　以上